

本部研修会



平成 27 年 6 月 15 日 (月)
徳島グランヴィリオホテル
受講者：148名

平成27年6月15日、徳島グランヴィリオホテルにおいて本部研修会が開催されました。

利用予定がなく長期不在となっている空き家は、徳島県内に28,000戸あり、住宅総数に占める割合は、7.9%と全国平均と比べても高い水準にあり、かつ増加傾向にあります。増加し続ける空き家は、地域の活力の低下を招くとともに、管理不全により周辺に対して防災、防犯、環境、景観の面で悪影響を与えるなど様々な問題が内在しており、地域社会全体で関係者が連携し、多方面にわたる取り組みが必要となっています。

そこで、第一部では、早くから中古住宅の流通

活性化に取り組まれている、一般社団法人山口県宅地建物取引業協会より五郎丸孝士会長を講師に迎え、中古住宅の現状と流通活性化対策及び今後の課題等について講演いただきました。

また、中古住宅の円滑な流通については、建築関連事業者、住宅検査事業者、瑕疵保険事業者等と連携した消費者サービスの提供が不可欠であると考え、第二部では、公益社団法人徳島県建築士会の佐藤幸好会長に、住まいや空き家に対する建築士会の取り組みについて、説明をいただきました。

今秋には、昨年引き続き「空き家・空土地の有効活用無料相談会」の開催も予定されていることもあり、専門的かつ多様化する相談への適切な対応を図るため、受講者全員熱心に最後まで受講していました。



(一社) 山口県宅地建物取引業協会
五郎丸 孝士会長



(公社) 徳島県建築士会
佐藤 幸好会長

